

新たな

生活支援拠点

を整備します

放課後等デイ(重心)、生活介護(通所)、短期入所、入所施設を核として、様々な障害を抱える方の生活を支えます。

安全に、安心して、快適に、自分らしく、楽しく、暮らすを応援する地域の拠点を目指します。

岩舟町曲ヶ島エリアのサポート体制

整備R2.11~R3.8(予定)



ひのきの杜
《入所・短期・通所》

肢体不自由、重症心身障害
を中心に重複障害のある方

児童(放課後等デイ)から
ターミナル(入所)まで一貫
したサービスを保障

改修R3.10~R4.5(予定)



ひのきの杜共生
《入所・短期》

知的障害のある方
行動障害のある方

けやきの家・周辺グループ
ホームと一体の支援を提供



けやきの家
《通所:生活介護》

知的障害、行動障害を
中心に様々な障害を
お持ちの方

作業だけでない一人ひとり
を大切に温かな支援

《建設への想い3》

「私たちが亡くなったらこの子はどうなるのか。親なき後も安心して暮らせる場所を整備してほしい。」
法人設立以来、多くの声に応えるために、すぎのこ学園、あすなる園(平成15年移転:現ひのきの杜共生)、もくせいの里をはじめとする施設・事業所を多数整備し、重度の知的障害や強度行動障害のある方の支援に力を注いできました。

そして、2020年、すぎのこ会は設立45周年を迎えました。当時の利用者は、60代、70代を迎え、グループホームや知的障害者対象の入所施設だけでは十分な支援が困難な「介護が必要な方」が出てきました。5年前に整備した特別養護老人ホームみすぎの郷に加えて、身体障害者療護施設(現:障害者支援施設)ひのきの杜の機能を強化することで、45年にわたってすぎのこ会に信頼を寄せてくださる保護者の“想い”に応えていきます。福祉サービスが不十分だった設立時や苦難の時期から、共に生き、共に創ってきた利用者・保護者がいつまでも安心できる施設、それが「新ひのきの杜」です。

重度の知的障害や強度行動障害の方に対しては、現在の建物を「短期入所増床」「全室個室」に大規模改修する「新ひのきの杜共生」と「けやきの家」で支援いたします。いつの時代にも、どんな状態でも、その人らしい暮らしができる。その実現にむけて、多くの皆さんの更なるご支援、ご協力をお願いいたします。

社会福祉法人すぎのこ会 ひのきの杜/ひのきの杜共生/けやきの家